

県立安芸津病院耐震化対応 事業概要

1 事業要旨

県立安芸津病院の旧棟は、昭和 49 年に旧耐震基準により建設されてから約 50 年が経過し、老朽化の進行が著しいため、早急な耐震化対応が求められています。

こうした中、令和 7 年 2 月に「県立安芸津病院耐震化対応基本構想」（以下「基本構想」という。）、令和 7 年 10 月に「県立安芸津病院耐震化対応基本計画」（以下「基本計画」という。）を策定し、隣接する敷地に新築棟を建設するとともに新棟の一部は改修し、旧棟は解体することとしました。

2 耐震化対応の概要

(1) 施設整備方針

- ア 継続的な地域医療の提供と変化する地域に対応できる柔軟性の確保
- イ 災害・感染症に対応する施設の整備
- ウ 施設利用者にやさしい施設の整備
- エ 職員が働きやすい施設の整備
- オ 環境・経済性に配慮した施設の整備
- カ 経営環境の向上

(2) 施設整備計画

ア 計画建物概要

- 敷地面積 : 2,074.45 m²
- 建築面積 : 1,200 m²程度
- 延べ面積 : 5,000 m²程度（ピロティ部分を含める、容積率緩和手続きが必要）
- 構造 : 鉄筋コンクリート造
- 階数 : 地上 5 階建て程度
- 病床数 : 60 床（急性期一般病床：約 30 床、地域包括ケア病床：約 30 床）
- 診療科目 : 12 科目（内科（一般、消化器、循環器）、小児科、外科、整形外科、緩和ケア外科、リハビリテーション科、放射線科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科）
- 付設駐車場 : 170 台想定（整備予定用地及び現安芸津病院跡地を含める）
- 災害 津波浸水想定：被害想定なし
- 高潮浸水想定：3.0m～5.0m
- 洪水浸水想定：3.0m～5.0m

イ 現安芸津病院（新棟）改修概要

- (ア) 管理部門（事務室・医局・幹部諸室・更衣室・会議室・当直室等）配置に伴う内部改修工事 700 m²程度
- (イ) 既存棟（旧棟）解体に伴う外壁増設工事 250 m²程度
- (ウ) 屋上防水改修工事 1,200 m²程度

3 概算事業費

移転建替え及び既存棟（新棟）改修等に係る概算事業費は、約 56 億円を見込んでおりますが、基本設計・実施設計段階にて、詳細な金額を積算することとします。

区分	金額（億円）	備考
新築工事費	約 41～47	単価 750 千円/㎡
既存建物改修費用 （解体費含む）	約 6～7	単価 350 千円/㎡
医療機器更新費用	約 7～8	
その他工事費 （設計監理、引越費用等）	約 2～3	
計	約 56～65	

※ 着工時の建築費高騰リスクとして最大約 65 億円を見込む。

4 整備スケジュール

2024 年度 令和 6 年度	2025 年度 令和 7 年度	2026 年度 令和 8 年度	2027 年度 令和 9 年度	2028 年度 令和 10 年度	2029 年度 令和 11 年度
●基本構想	●基本計画	基本設計・実施設計	建築工事 着工準備・ 契約手続		●開院 既存棟（旧棟） 解体等

5 整備手法

建築費の高騰が続くと予測されるためコスト削減効果が期待できるもの、また、地域医療体制を安定的に維持するためにも、早期に新築棟を開院できる整備手法とする必要があります。

施工難易度の観点からは、隣地建替であり、減床はしつつも現医療体制の継続を目的として整備することから、仕様及び施工条件については標準的と考えます。

以上を踏まえ、総合的に判断した結果、「従来方式（設計施工分離発注）」を基本に整備を進めることとします。

6 土地利用計画図

